

報道関係者 各位

(株)島原観光ビューロー
取締役および監査役の決定・株式の募集について

市内観光関係団体を一元化して発足する(株)島原観光ビューローについて、下記を取締役および監査役として9月16日に会社設立登記が完了しましたので、お知らせします。

また、10月3日より市内外より幅広く出資金の募集を行いますので、併せてお知らせします。

1. 取締役および監査役について

代表取締役 古川 隆三郎 (島原市長)
取締役 満井 敏隆 (島原商工会議所会頭)
取締役 武長 道雄 (島原市 しまばらブランド営業本部長)
取締役 塩野 進 (島原市 島原ふるさと創生本部長)
監査役 八幡 秀昭 (公認会計士)

※ 上記取締役は当面の期間における体制であり、今後、随時変更があり得るものです。

2. 株式の募集開始について (別添「募集株式の引受申込みに関する通知書」参照)

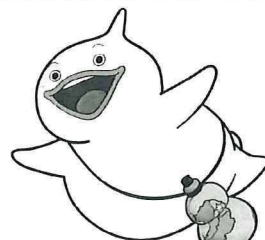
募集株式の数 : 995 株
募集株式の払込金額 : 募集株式1株につき金2万円
募集株式の引受申込期間 : 10月3日(月)～28日(金)
募集株式と引き換えにする金銭の払込期間 : 11月1日(火)～8日(火)

- ・ 申し込み後に割当通知を受けましたら、1株当たり2万円を払い込んで頂くことになります。
- ・ 募集株式の割当については、原則として申込の早い順に決定する予定です。
- ・ 締め切り以降、準備ができ次第、「株主名簿記載証明書」が交付され、実質的に株券の代わりとなります(株券の発行は行いません)。
- ・ 株式の譲渡については会社側の事前の承諾が必要です。また、その時点の株式の価値で譲渡することになりますので、株価の増減の可能性があります。
- ・ 株主となられた方には、今後、(株)島原観光ビューローが運営する観光施設への優待等について検討してまいります。

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市市長公室 塩野、帯田、長嶋
電話：0957-63-1111 (内線 148)
E-mail：s-shiono@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

(株)島原観光ビューロー 株式の募集について

島原市内観光組織を一元化し設立する(株)島原観光ビューローについて、出資金の募集を行います。
今後の島原の観光・まちづくりを推進する新会社を、株主として応援しませんか？

1. 募集の概要について

募集株式の数	: 995株
募集株式の払込金額	: 募集株式1株につき金2万円
募集株式の引受申込期間	: 平成28年10月3日(月)～28日(金)
募集株式と引き換えにする金銭の払込期間	: 平成28年11月1日(火)～8日(火)

【申込書の請求問い合わせ先】 0957 (62) 8012 市役所政策企画課

- ・申し込みの際には、申込書と併せて、反社会勢力に属さないことを宣誓する書類も提出をいただきます。
- ・申し込み後に割当通知を受けた後に、割当通知書記載の口座番号に1株当たり2万円を払い込んで頂くことになります(振込手数料は申込者負担をお願いします)。
- ・募集株式の割当については、原則として申込の早い順に決定する予定です。
- ・締め切り以降、準備ができ次第「株主名簿記載証明書」が交付され、実質的に株券の代わりとなります(株券の発行は行いません)。
- ・株式の譲渡については会社側の事前の承諾が必要です。また、その時点の株式の価値で譲渡することになりますので、株価の増減の可能性があります。
- ・株主となられた方には、今後、(株)島原観光ビューローが運営する観光施設への優待等について検討してまいります。

2. (株)島原観光ビューローについて

①会社概要

商号 株式会社島原観光ビューロー

所在地 長崎県島原市下川尻町7番地5 島原港ターミナルビル内
※事務所は当分の間、仮事務所として旧島原温泉観光協会、旧島原城振興協会の事務所を使用する予定です。

設立日 平成28年10月1日より稼働(会社成立は9月13日)

資本金 10万円(設立時。このほか、島原市より追加で4千万円を出資)

設立時取締役等	代表取締役	古川 隆三郎 (島原市長)
	取締役	満井 敏隆 (島原商工会議所会頭)
	取締役	武長 道雄 (島原市しまばらブランド営業本部長)
	取締役	塩野 進 (島原市 島原ふるさと創生本部長)
	監査役	八幡 秀昭 (公認会計士)

目 的

- (1) 観光宣伝及び観光客の誘致促進に関する事業
- (2) 観光施設等の管理運営に関する事業
- (3) 観光に関する調査及び研究並びに情報収集
- (4) 物産振興に関する調査研究・商品企画開発及び物産販売事業と販売店舗の運営
- (5) 旅行業法に基づく旅行業
- (6) 飲食店の経営、企画に関する事業
- (7) 宿泊施設の運営に関する事業
- (8) 教育文化振興のための事業
- (9) 観光事業を行う機関及び団体との連絡協調
- (10) 前各号に附帯又は関連する一切の業務

※上記は今後実施しうるものを含む

②業務計画について

・嵯島原観光ビューローは、島原市から委託を受けて行う観光プロモーション、補助事業に加えて、これまで島原市、島原温泉観光協会、（一財）島原城振興協会が行ってきた、島原城（天守閣、売店等）、四明荘、清流亭などの観光施設運営、物販などを主要業務として一元的に行います。

嵯島原観光ビューローが運営する観光施設

収益性高い



島原城（天守閣・駐車場、売店）



清流亭



四明荘



しまばら湧水館



武家屋敷

収益性低い

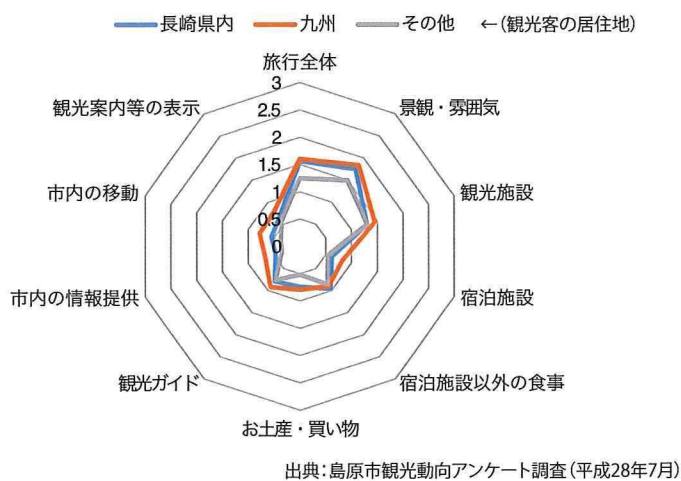
- ・平成28年度は、①従来提供をしてきた観光サービスの継続的な実施、②事務の効率化による経費節減、③組織内事務など統合の円滑化、を当面の重点目標とします。
 - ・平成29年度以降、①島原城以外の観光施設の収益力強化（単価の改善、観光客の周遊による各観光施設の訪問客数増加等）、②新サービスの提供、などを通じた収益構造の転換・島原観光の魅力強化を図ります。
 - ・平成28年度（下半期）は、前年度比での売上増、経費減を目標とします。平成29年度以降、早期の黒字化を目指します。
- ※上記内容については、今秋にも開催予定の設立総会で説明を行う方針です。

観光4団体の現決算合算

純売上高	2億1,000万円	収益の多様化、単価引き上げによる売上増
島原城	1億2,500万円	
四明荘（維持管理協力金）	150万円	
湧水館	80万円	
清流亭	100万円	
業務委託費 等	8,000万円	効率化等による経費節減
売上原価	1億0,500万円	
販管費（人件費等）	1億2,500万円	
営業損益	▲2,000万円	早期の黒字化を目指す

→経費節減、収益力の低い施設の見直し、新サービスによる売上により、早期の黒字化を図る

（参考）島原観光の課題



→「景観・雰囲気」の強みを活かしつつ、「市内の情報提供」、「市内の移動」を改善し満足度向上を図る必要

③嵯島原観光ビューローの基本方針

自主財源の確保による行政の縛りからの脱却

定量的な分析による的確な観光の現状の把握

KPI（目標数値）設定による達成率の可視化

統一的な観光プロモーション、一体的な観光施設の運営、幅広い市民の参画により、従来の制約を超えた新たな観光サービスを来訪者に提供

観光経営人材の輩出（処遇の確保、幅広いキャリア）

交流人口の拡大により島原経済の好循環を生み出す